

■定義 5.12 ■ (コンパクト性)  $A \subset X$  がコンパクトであるとは、 $A$  の任意の開被覆  $\{U_\alpha \mid \alpha \in \Lambda\}$  に対して、有限個からなる部分被覆  $U_{\alpha_1}, \dots, U_{\alpha_n}$  すなわち、 $A \subset U_{\alpha_1} \cup U_{\alpha_2} \cup \dots \cup U_{\alpha_n}$ ,  $\alpha_i \in \Lambda$  が必ず存在することである。

問題 5.12 コンパクト集合  $B$  中の閉集合  $A \subset B$  はコンパクトであることを示せ。

考え方  
閉集合の補集合は開集合である。考える  $A$  の開被覆に開集合  $A^c$  を加えて、 $B$  の開被覆をつくる。そして、 $B$  のコンパクト性を用いる。

解  
 $X$  を位相空間とし、 $A \subset B \subset X$ ,  $B$ : コンパクト,  $A$ : 閉集合とする。  $\{U_\alpha \mid \alpha \in \Lambda\}$  を  $A$  の任意の開被覆とする。  $\{U_\alpha \mid \alpha \in \Lambda\} \cup \{A^c\}$  を考えると、これは  $B$  の開被覆になる。なぜなら  $A^c$  は  $A$ : 閉集合より開集合。  $x \in B$  とすると  $x \in A$  または  $x \in B - A$ 。  $x \in A$  なら  $x$  はある  $U_\alpha$  に含まれるし、  $x \in B - A$  なら  $x$  は  $A^c$  に含まれる。よって  $B \subset \left(\bigcup_{\alpha \in \Lambda} U_\alpha\right) \cup A^c$ 。  $B$  はコンパクトだから  
$$\exists \alpha_1, \dots, \alpha_k \in \Lambda : B \subset U_{\alpha_1} \cup U_{\alpha_2} \cup \dots \cup U_{\alpha_k} \cup A^c.$$

最後の  $A^c$  は不要かもしれないが、その場合でも  $A^c$  をさらに加えているのだからこれは当然成り立つ。  $A \subset B$  かつ  $A \cap A^c = \emptyset$  だから  $A \subset U_{\alpha_1} \cup U_{\alpha_2} \cup \dots \cup U_{\alpha_k}$  が成り立ち、 $A$  は  $\{U_\alpha \mid \alpha \in \Lambda\}$  の中の有限個で覆えた。よって  $A$  はコンパクト。  
□

問題 5.13 ハウスドルフ空間中のコンパクト集合は閉集合であることを示せ。

考え方  
「 $A$ : 閉集合  $\iff A^c$ : 開集合  $\iff \forall x \in A^c, \exists U : x$  の近傍,  $U \subset A^c$ 」を導けばよい。  
 $x \in A^c$  と  $y \in A$  をとる。  $X$ : ハウスドルフ空間,  $x \neq y$  より  $x$  を含む開集合  $U_y$  と  $y$  を含む開集合  $V_y$  が存在して、 $U_y \cap V_y = \emptyset$  となる ( $x$  でなく  $y$  を動かすので、 $x$  を含む開集合も  $y$  によって決まる。記号のつけ方に注意)。  $A$  の開被覆として  $\{V_y \mid y \in A\}$  をとると、 $A$ : コンパクトより、 $\exists y_1, \dots, y_k : A \subset V_{y_1} \cup \dots \cup V_{y_k}$ 。  $U = U_{y_1} \cap \dots \cap U_{y_k}$  とする。各  $U_{y_i}$  は開集合なので  $U$  も開集合で  $U \cap A = \emptyset$  も成り立つ。

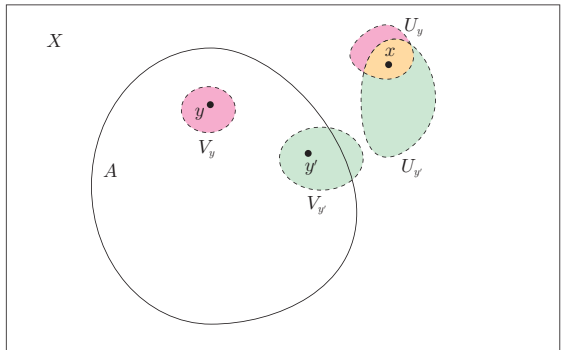


図 5.3 コンパクトは閉

解  
 $X$ : ハウスドルフ空間,  $A \subset X$ : コンパクトとする。  $A^c$  が開集合であることを示す。  
 $x \in A^c$  を固定して  $y \in A$  とする。  $X$ : ハウスドルフ空間より  $\exists U_y, \exists V_y$ : それぞれ、 $x, y$  を含む開集合,  $U_y \cap V_y = \emptyset$ 。  $\{V_y \mid y \in A\}$  は  $A$  の開被覆だから、 $A$ : コンパクトより、 $\exists y_1, y_2, \dots, y_k \in A : A \subset V_{y_1} \cup V_{y_2} \cup \dots \cup V_{y_k}$ 。  $U = U_{y_1} \cap U_{y_2} \cap \dots \cap U_{y_k}$  とすれば  $U$  は  $x$  を含む開集合。